



DACS-9600Nシリーズ
Wi-Fi接続説明書

本説明書では DACS-9600N シリーズ
デジタル入出力/カウンタ/パルス出力の
各ユニットについて、Wi-Fi接続手順を説明して
います。

計測ユニット DACS-9600N-H4PW/C2PWを
ご使用の場合は、本説明書ではなく、
計測ソフトADG96N取扱説明書をご覧ください

DACS

目次

| | | |
|---|--|---|
| 1 | Wi-Fi接続の概要 | 2 |
| 2 | APモードで接続 | 3 |
| | (1) 計測ユニットの電源を入れると | 3 |
| | (2) パソコンのWi-Fi設定 | 4 |
| | (3) APモードの接続確認 | 5 |
| 3 | 端末モードで接続 | 6 |
| | 端末モードで使用しない場合は、 3項の手順は必要ありません | |
| | (1) 端末モード用設定ファイルの編集 | 6 |
| | (2) 設定実行 | 7 |
| | (3) 端末モードの接続確認 | 8 |
| | (4) 設定実行中にネットワーク切断などが あった場合 | 9 |

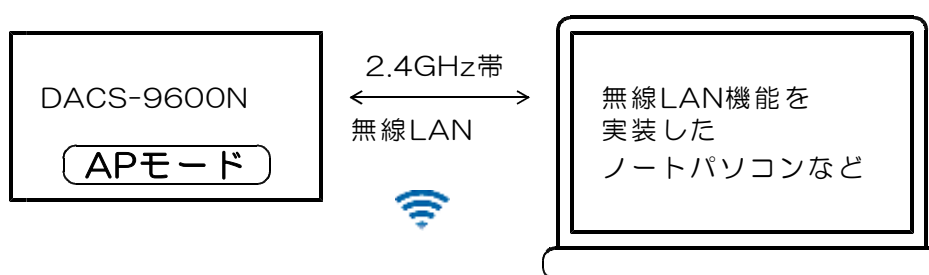
1. Wi-Fi接続の概要

DACS-9600Nシリーズは 2.4GHz帯の無線LANで、パソコンなどと接続します。

接続形式は、① APモード（アクセスポイントモード）と、② 端末モードの2種類があり、どちらか一方のモードを選択して使用します。

（1）APモード（アクセスポイントモード）

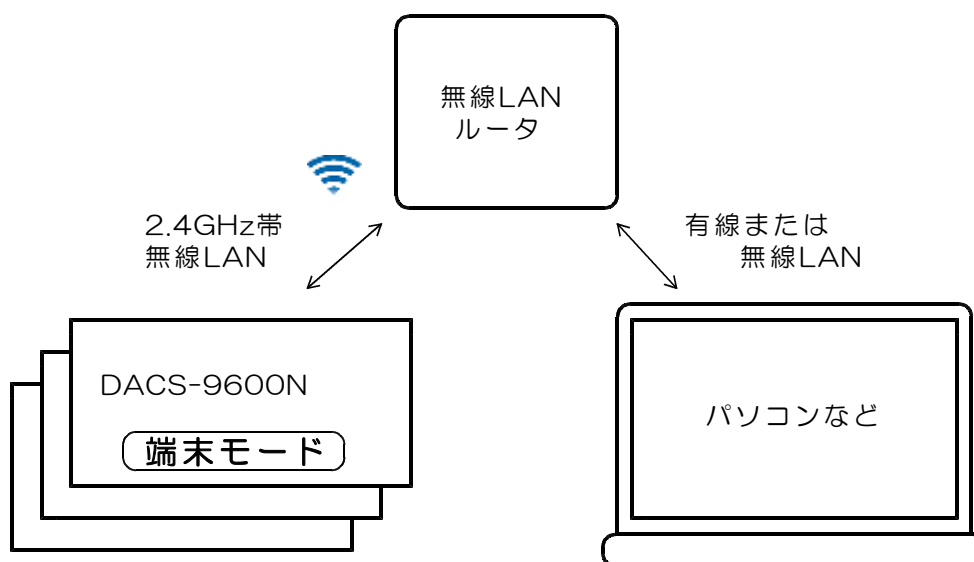
無線LAN機能を実装したノートパソコンなどと、直接に接続するモードです。APモードでは、無線LANルータなどの設備は必要ありません。初期状態では、このモードでの接続となります。



（2）端末モード

無線LANルータなどがある環境で使用するモードです。無線LANルータに、有線または無線LANで接続しているパソコンと接続して使用します。

1台のパソコンに、複数台の DACS-9600N を接続することができます。



接続可能な台数は無線LANルータにより制限されます。

2. APモードで接続

(1) DACS-9600N の電源を入れると

初期状態では、APモード（アクセスポイントモード）での接続となります。APモードは、Wi-Fi接続のできるノートパソコンなどと直接に接続します。無線LANルータなどのネットワーク環境は必要ありません。

DACS-9600N に、付属のACアダプタを接続して電源を入れると

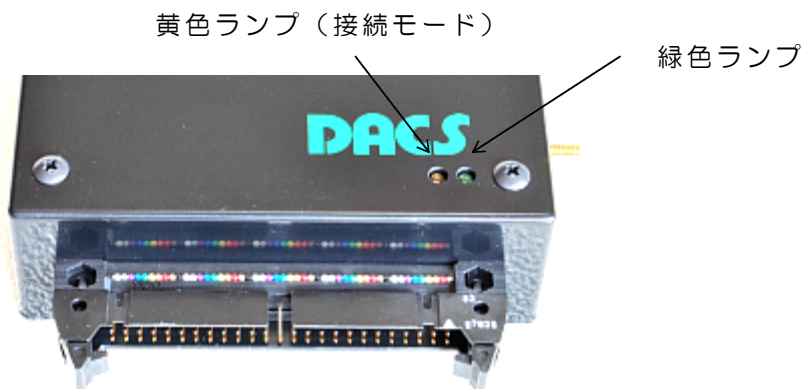
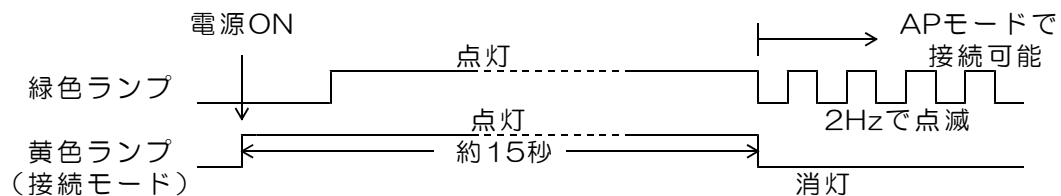
まず、黄色ランプが点灯します。続いて数秒後に、緑色ランプが点灯します。DACS-9600N は、端末モードで接続する相手先（無線LANルータなど）を探します。

初期状態では、接続可能な相手先はありませので、黄色/緑色ランプ共に点灯を続け、
約15秒後に、APモードに自動的に移行します。

APモードになると

黄色ランプは消灯し、緑色ランプが2Hz程度の周期で、規則的に点滅します。

この状態を確認してから、次の「パソコンのWi-Fi設定」に移ります。



(2) パソコンのWi-Fi設定



Windows10パソコンでの手順

次の、方法1～方法3のいずれかの方法で、接続先を選択します。

方法1 ツールバーのWiFi  をクリック

**** ツールバーにWiFiマーク表示がない場合 ****

方法2

 スタート →  設定 → ネットワークとインターネットの順に開き、
(左側) Wi-Fi → (右側)利用できるネットワークの表示を選択します。

方法3

コントロールパネル → ネットワークとインターネット の順に開き、「ネットワークと共有センター」の下部にある、「ネットワークに接続」をクリックします。

上記のいずれかの手順で、接続先の一覧が表示されますので、

一覧にある d96Nxxxxxx を選択して、「接続」をクリックします。
xxxxxx の部分は、製品ごとに異なります。製品の側面（アンテナ取付面）にシール添付にて表示しています。

続いて、セキュリティコードを入力します。セキュリティコードは、Dから始まる8桁の英数字で、製品の側面にシール添付にて表示しています。

これにて、接続完了です。

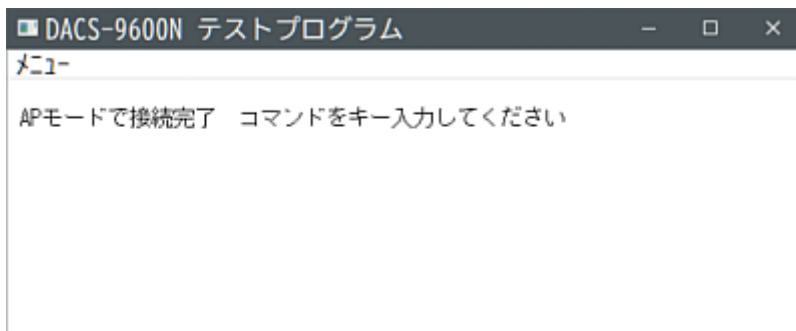
(3) APモードの接続確認

サンプルプログラム D96NDIO.EXE を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーし、マウスにてダブルクリックして起動します。このプログラムはダウンロードした dacs9600N_DIO フォルダにあります。

プログラム起動直後には、APモードで DACS-9600N を自動検索します。

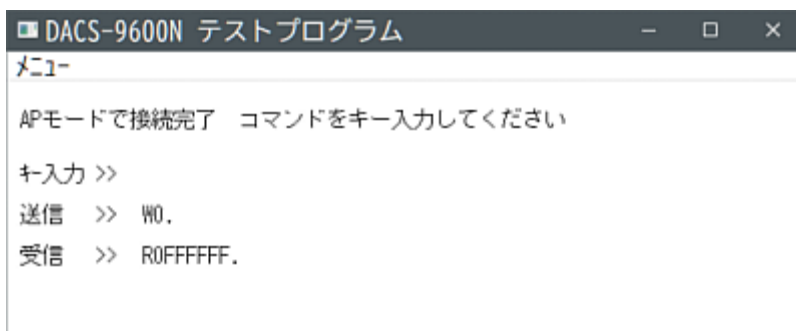
APモードで接続できないときは、続いて端末モードで検索を続けます。

接続ができると、右の画面になります。



キーボードから W0 (大文字のW、ゼロ、enterキー) と入力すると DACS-9600N から、デジタル入力状態の応答があり、右の画面になります。これにて接続が確認できました。

接続ができないと、「接続できません」と表示されますので、このような場合は、パソコンのWi-Fi接続を再度確認してください。



接続ができないとき

ホームページの「Q&A技術編」にある「DACS Wi-Fi機器 初期接続時のトラブル事例と対策」を参考にしてください。

3. 端末モードで接続

端末モードで使用しない場合は、
本項の手順は必要ありません

(1) 端末モード用設定ファイルの編集

「設定ファイル」と「設定プログラム」を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーします。このファイルとプログラムはダウンロードした dacs9600N_DIO フォルダにあります。

設定プログラム D96NCOL.EXE
設定ファイル(サンプル) DACS9600N_ST.co1
↓
DACS9600N_ST.co1 のファイル名を、
DACS9600N.co1 に変更します。

設定ファイルの内容を、メモ帳などのテキストエディタで次のように編集し保存します。

| データ | コメント |
|----------------|------------------------------------|
| 2 | AP:1 STA:2 |
| xxxxxxxxxxxxxx | SSID |
| 2 | No:0 WPA:1 WPA2:2 WEP:3 |
| xxxxxxxxxxxxxx | Passphrase |
| 1 | DHCP:0 Static:1 |
| 192.168.0.1 | DNS IP Address |
| 192.168.0.1 | Gateway IP Address |
| 255.255.255.0 | IP Address Mask |
| 192.168.0.40 | Device IP Address |
| 1770 | Server Timeout(hex) *0.1s max FFFF |
| 1770 | Client Timeout(hex) *0.1s max FFFF |

行数とデータの行位置は変更しないでください。
各行の後半はコメントです。
データとコメントとは、
1個以上のスペースで分離しています。
各行のデータには、先頭から終了位置まで、スペースを含めないでください。
コメント欄の記述は自由。

- 1行目 | 端末モードを指定します。2 のまま変更しないでください。
- 2行目 | 接続する無線LANルータの SSID を指定します。
ご使用の無線LANルータにシール添付などで表示してあります。
- 3行目 | セキュリティの種類を指定します。通常は 2 とします。
- 4行目 | 接続する無線LANルータのセキュリティーキーを指定します。
ご使用のルータでは、プロテクトキー、暗号化キーという名称にもなっています。

| | |
|------|---|
| 5行目 | 固定IPアドレスで使⽤します。1 のまま変更しないでください。 |
| 6行目 | DNSアドレス 通常は無線LANルータのアドレスを指定 |
| 7行目 | デフォルトゲートウェイ 通常は無線LANルータのアドレスを指定 |
| 8行目 | このまま変更しないでください。 |
| 9行目 | 計測ユニットに割振るIPアドレスを指定してください。 192.168.xxx.yyy xxx は無線LANルータと同じ値とします。 yyy は、0~255の範囲で空いているアドレスを指定します。 無線LANルータのDHCPが自動割当をする範囲も避けてください |
| 10行目 | タイムアウト時間を設定します。このまま変更しないでください。 |
| 11行目 | タイムアウト時間を設定します。このまま変更しないでください。 |

(2) 設定実行

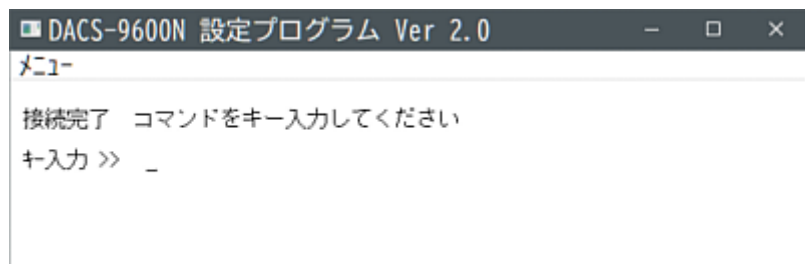
設定プログラム `D96NCOL.exe` のあるフォルダに、適切に編集した設定ファイル `DACS9600N.col` があることを確認してください。

- ① DACS-9600N の電源を入れ、APモードで接続しているときは、約15秒ほど待つて、緑色ランプが、毎秒2回程度の規則的な点滅となるのを確認してください。黄色ランプは消灯となります。

(注) すでに端末モードで接続しているときは、次項の「端末モードの接続確認」をご覧ください。端末モードで動作しているユニットにも、設定を実行することができます。

端末モードで接続する場合は、接続中のIPアドレスを入力します。

- ② `D96NCOL.exe` を起動すると、右の画面となります。



- ③ S# とキー入力します。enterキーは入力しないでください。

書込中は書込中のメッセージを表示し、書込み実行後、正常終了すると「ネットワーク設定書込完了」と表示します。



- ⑤ 設定プログラムを終了してください。

- ⑥ DACS-9600N の電源再投入で、端末モードにて動作します。
また、すでに端末モードで動作しているユニットに、異なるIPアドレス設定などで、ネットワーク設定を変更した場合も、計測ユニットの電源再投入で、新しく設定した内容で動作します。

(重要) 設定ファイル `DACS9600N.col` は、
サンプルプログラムが、端末モードで動作する場合に必要となりますので、
設定実行後も、フォルダから削除しないようにしてください。

(3) 端末モードの接続確認

DACS-9600N の電源を入れると、まず、黄色ランプが点灯します。
続いて数秒後に、緑色ランプが点灯します。

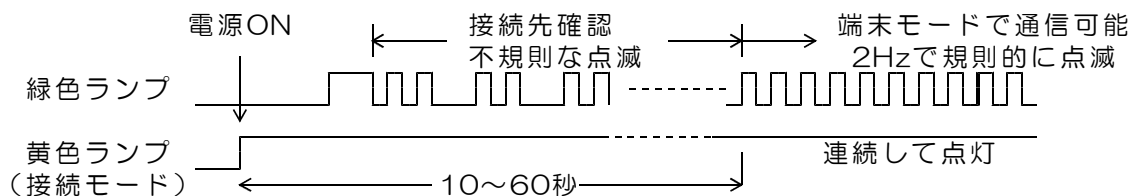
DACS-9600Nは、端末モードで接続する相手先（無線LANルータなど）を探します。
接続可能な相手先が見つかったら、まず、緑色ランプが点滅を始めます。点滅の状態は、
毎秒2回程度で、2回点滅した後、1秒程度休止する不規則な点滅となります。
この状態では、接続先が見つかってはいますが、まだ通信が可能な状態ではありません。

(注) ここで、点滅ではなく連続点灯が続く場合は、接続相手先が見つからない場合です。
この場合は、約15秒後にAPモードに自動的に移行します。

不規則な点滅の後、さらに、10~60秒後に、緑色ランプが、毎秒2回程度の規則的な
点滅に変わります。ここから、DACS-9600N とパソコンが通信可能な状態となります。

端末モードになると

黄色ランプは連続点灯、緑色ランプが2Hz程度の周期で、規則的に点滅します



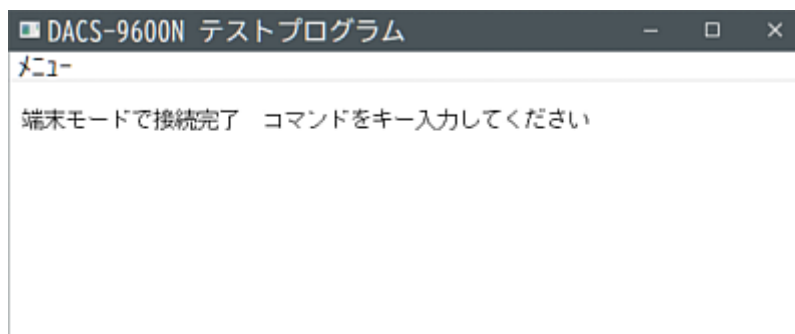
(ご参考) 端末モードに接続後、無線LANルータの電源が切れるなどで、ネットワークの切断があると、DACS-9600N の電源がONの間は、16秒間隔で、端末モードの接続試行を繰り返しますので、ネットワークが回復すると、再び、端末モードで動作します。DACS-9600N の電源を再投入すると、接続相手先が見つからない場合は、APモードになります。

動作確認

サンプルプログラム `D96NDIO.EXE` を、たとえば `D96NDIO` などのフォルダを作成して、この中にコピーし、マウスにてダブルクリックして起動します。このプログラムはダウンロードした `dacs9600N_DIO` フォルダにあります。

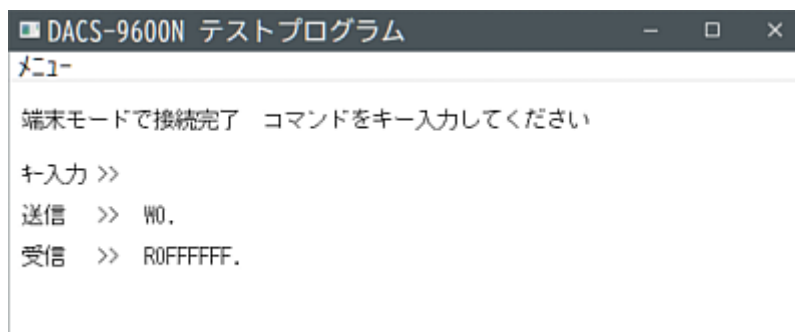
プログラム起動直後には、APモードで DACS-9600N を自動検索します。
APモードで接続できないときは、続いて端末モードで検索を続けます。

端末モードで接続すると、
右の画面になります。



キーボードから W0(0)
(大文字のW、ゼロ、enter
キー) と入力すると
DACS-9600N から、デジ
タル入力状態の応答があり、
次の画面になります。

これにて接続が確認できま
した。



(4) 設定実行中にネットワーク切断などがあった場合

設定実行中にネットワーク障害などの予期せぬトラブルで、「ネットワーク設定に失敗しました」という表示となる場合は、そのまま、再度の設定を試みてください。

それでも失敗する場合は、①DACS-9600N の電源を再投入、②設定プログラムを再起動して、再度の設定実行を試みてください。トラブルのあったステップにより、再起動後の接続モードが異なりますので、電源投入後の緑色/黄色ランプの状態をみて、APモード/端末モードの確認を行ってから接続を試みてください。

(完)

製造販売

ダックス技研株式会社

ホームページ <https://www.dacs-giken.co.jp>

DA96NDIO21A28A